

会員へのよびかけ

来年の徳島県生連創立45周年に向け、大飛躍を

会員のみなさん

来年の2009年は徳島県に生活と健康を守る会が生まれて、45年を迎えます。私たちは、創立以来一人ひとりの「私の要求」にもとづく運動を行い、憲法に保障された生存権権利を力に「人間らしい」暮らしや医療、教育をもとめて運動してきました。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を合言葉に班を基礎に地域で活動し、仲間の輪を広げてきました。

会員のみなさん

自民・公明政権は、ワーキングプア（働く貧困層）をつくりだし、社会保障費を削減し、農業を破壊し、食の安全を奪いながら、一部の大企業とアメリカの利益のための政治をすすめています。

そうしたなか、みなさんのかけた一声がいのちを救い、みなさんの配った一枚のピウが一家の暮らしを守っています。生活と健康を守る会に出会った人たちが、喜びと誇りに満ちた活動を地域でくりひろげています。

会員のみなさん

いま「貧困は社会の手でなくさなければならない」の思いが、国民のなかにひろがっています。その中心でがんばっているのが生活と健康を守る会（守る会）です。

守る会が強くなり大きくなるのが、今ほど求められているときはありません。来年の創立45周年を大きな飛躍のなかで迎えようではありませんか。

会員のみなさん、ご協力ください

- ① あなたの知り合いをご紹介ください。知り合いに守る会のことを話して守る新聞の購読をすすめて下さい。相談会や班会に誘って入会をすすめて下さい。
- ② 宣伝チラシを1枚でも2枚でも配って下さい。署名をよく読み、知り合いや近所に広げて下さい。
- ③ 守る新聞を1部でも2部でも配って下さい。

2008年10月19日

徳島県生活と健康を守る会連合会第42回定期大会